

高松市の概要：コンパクトでスマートな住みやすい都市

概要

人口	約41万人	高齢化率	約26.9%
可住地人口密度	1,790人/km ²	昼夜間人口比率	102.9%
都市の特徴・周辺地域との関わり	香川県の県庁所在地であり、瀬戸内海に面した多島美を誇る都市であり、JR高松駅や高松港は都市の玄関口として機能しており、四国地方の交通の要所としても知られている。都市開発においては、スマートシティの推進や持続可能なまちづくりに注力しており、居住しやすい環境が整っている。		
将来都市像	活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松		

サマリー

- 自然災害の主観・客観因子が低く、市としての防災取り組みが不足しており、かつ市民も防災対策が不十分に感じられていると考えられるため、市民を巻き込んだ防災対策の拡充が求められている。
- デジタル生活の主観因子と客観因子の乖離が大きく、市としてはデジタルな取り組みは活発であるが、市民は行政サービスのデジタル化を認知・活用できていないと考えられるため、市民への積極的な発信と市民の日常生活と関連性が高い行政サービスのデジタル化が必要だと考えられる。
- 移動・交通の主観因子が低く、市民が移動・交通において公共交通機関での移動が不便であると感じていると考えられるため、公共交通の利便性向上や移動エリアの拡大などが必要だと考えられる。
- 事故・犯罪の客観因子が低く、これは人口あたり交通事故発生件数が多いことが原因であると考えられるため、交通安全対策の強化が必要であると考えられる。

因子別グラフ

